

# 福島県立二本松工業高等学校

第 10 号

平成23年3月1日



## 同窓会会報

発行所

福島県立二本松工業高等学校同窓会  
〒964-0937

福島県二本松市榎戸1丁目58ノ2

TEL 0243-23-0960

FAX 0243-22-7388

発行者 佐藤忠司

印刷 株式会社丸井文社

発行部数 4,500部

### 校歌

詞 草野心平  
曲 小山清茂

日輪は 大にかがやき

阿武隈は 光る動脈

ここ榎戸の 美しき地に

日毎集まる われら若人

腕組まん ともに

学ばなん ともに

真善美 ひたに求めて

ああ母校 二本松

われらは愛す われらが母校

一新しく、時はめぐりて

安達太良に 白き雲湧く

ここ榎戸の 台地より見る

あの高さこそ われらが理想

眉あげん ともに

ほげまなん ともに

大いなる未来 ひたに望みて

ああ母校 二本松

われらは愛す われらが母校

### C O N T E N T S

同窓会会長挨拶	2
学校長挨拶	3
くるがね祭	4
学校近況（資格取得状況・部活動大会成績）	5
学校近況（進路状況）	6
同窓会だより	7
母校だより	8

■松工テレフォンサービス  
(0234) 62-3330

■松工Eメールアドレス  
netmmaster@nihonmatsu-th.fks.ed.jp

■松工ホームページアドレス  
<http://www.nihonmatsu-th.fks.ed.jp>

# 同窓会会長挨拶



佐藤 忠司

## プロフィール

昭和四〇年度土木科卒業  
日本国有鉄道盛岡工事に就職、国  
鉄から東日本旅客鉄道株式会社に  
北工事事務所に勤務し、平成十九年  
一月定年退職後、仙建工業福島支店  
に嘱託として勤務し、昨年四月から  
郡山に勤務しています。そろそろ年  
金生活に移ろうとしています。  
二ヶ月ごとのミニ同級会を楽しんで  
おります。

## 「創立五十周年と雇用の回復」

会員の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

今年、昭和三十七年福島県立二本松工業高等学校として開校。安達高校を仮校舎として機械、電気各一学級で発足して以来五十周年を迎えます。記念事業は平成二十四年秋に予定しております。実行委員会を発足し、今年一年準備期間として議論をして行きたいとおもいます。

一昨年の政権交代で高校授業料無償化になりました。これ事態は大変

喜ばしいことですが、そもそも高校授業料が有償なのはOECD（経済協力開発機構）三十カ国中、日本、韓国、ポルトガル、イタリアの四カ国だけでした。「子供を社会が育てるという理念」からは第一歩を踏み出したといえますが、一方で財源として特定扶養控除の縮減により逆に負担増になる世帯が相当数生まれることと、教科書代など学校教育費の負担は残ったままです。私立高校では、親の所得に応じた就学援助金の支給にとどまりました。更なる負担軽減を望みたいと思います。

本経済は急速に悪化し、その落ち込みは先進七カ国の中で最も激しいものでしたが、二〇〇九年二月を底にして自動車や電機など輸出関連企業を中心に純利益を四兆円から七兆円に増やし、内部留保も二三兆円から二四兆円まで膨張させました。一方非正規労働者の大量解雇、ボーナスカット、下請け単価の切り下げなど労働者・中小企業に押し付けた結果になりました。利益の還元を雇用の拡大、非正規雇用から正規雇用への転換や最低賃金の引き上げ等にして頂きたいものです。

雇言情勢と賃金は低迷が続いています。完全失業者は五・二%と悪化したままで新卒者の就職難は極めて深刻です。特に大学生は就職活動で授業も受けられない状況になっています。採用試験を四年生の八月以降へ遅らせる採用活動の見直しなど政治の役割が重要になっています。松工では先生方の献身的な努力により昨年並みの水準に近づきつつあると聞いています。ただ就職をした後仕事がかかるとか、労働が辛いとかで退職すると、後輩の就職に多大な影響が出ていることも知っています。欲しいものです。

昨年、は改めて領土問題が浮上してきました。尖閣諸島、千島、竹島問題など日本には三つ領土に関する問題があるそうです。歴史的にも国際法上正当な領土と、竹島の問題は外交権を事実上奪った中での編入という歴史研究をして解決が必要と言われています。

また、沖縄普天間基地問題でも、公約違反もありますが、沖縄戦の悲惨な体験、米国の世界戦略の前線基地の役割、「思いやり予算」など政治の転換も必要だと思います。

わが在校生の活躍では、「工事担当者試験」及び「電気工事士」試験では引き続き大量の合格者を出し「資格の松工」の伝統を守って頂きました。本人の努力に敬意を評すると共に、指導に当りました先生方の献身的指導に感謝を申し上げます。また、カヌーの高校総体出場、ロボット相撲東北大会出場、マイコンカーの全国大会出場と活躍された在校生の皆さんにも敬意を表したいと思います。

昨年は「くろがね祭」を前にして二期生の渡辺氏より絵画「待春」の寄贈がなされ、五十周年記念事業の先取りとして臨時理事会の承認を得て学校に「額」を寄贈しました。報告を兼ねて挨拶いたします。

# 学 校 長 挨 拶



湯田 恒弥

プロフィール

下郷町生まれ。専門教科は工業（機械）。趣味は、山登り（日帰り）、スキー、読書等。福岡工芸手県、川俣、福島工（定時制）、喜多方工、会津工、郡山萌世（定時制）、平工に勤務し、平成二十二年四月本校に着任、現在に至る。

## 松工の近況

同窓生の皆様には日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力賜りまして感謝申し上げます。また、全国大会出場に際しましては激励金を戴くなどしてご支援いただきました。ありがとうございます。

本校は今年四月、五十回目の入学式を行います。五十周年記念式典等は平成二十四年度に計画しておりますので、今年はその準備をする段階です。同窓生の皆様の御協力をえながら進めていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

最近の世の中はリーマンショックによる景気の低迷や政権交代などにより少しずつ変化をしています。

本校もここ十年で魅力ある工業高校へと変わりつつありますので現状を簡単に報告いたします。一番大きな変化は、平成十六年度に学科改編を行ったことです。生徒が、より興味・関心のある分野を学べるように、ソフトウェアとハードウェアを充実させました。学科は機械システム科、情報システム科、都市システム科と名称を変えました。各科とも二年次からはコースに分かれて学習します。機械システム科は三つのコース（テクニカル、プランニング、ロ

ボット制御）、情報システム科は四つのコース（エレクトロニクス、コンピュータ、情報デザイン、デザイン）、都市システム科は二つのコース（都市エンジニア、環境プランニング）といった具合です。それぞれ、自分の興味・関心や進路を見据えてコースを選択します。また、少人数での学習になりますのできめの細かな指導も出来ます。その他、科の枠を超えた選択科目もありますので幅広い分野の学習が出来るようになっていきます。このシステムも中学生や地域や企業の方々にも理解され定着してきています。

学科改編に伴い、実習棟も新築いたしました。二階建てと平屋のモダンな実習棟が校舎の北側に平成十九年に完成しました。それに伴い、一部の設備も更新し充実させました。生徒達は快適な環境の下で、実験や実習をしております。そんな中、昨年十月、平成二十三年度の募集定員が発表になり情報システム科は定員が八十名から四十名となりました。様々な検討を重ねた結果、情報システム科は二年次からエレクトロニクスとコンピュータの二つのコースとし、デザイン系の科目（色彩応用、CG実習）は、コンピュータコースの生徒

が選択出来るようにする予定です。

次に、良き伝統の伝承として資格取得があげられます。毎年、難関の第一種電気工事士試験や工事担任者試験（DD三種・DD一種）で多数の合格者を出しています。試験の数ヶ月前から放課後や休日も勉強や技能の獲得に励んだ結果です。指導する先生の熱意もさることながら、合格に対する生徒の情熱が好成績を収めています。また、部活動ではカヌー部がインターハイで第四位入賞、野球部は秋の新人戦で県北地区初優勝するなど活躍しました。その他工業高校独自の大会の一つであるMCR（マイコンラリー）県大会で、好成績を収め、県内最多の三台のマシンが全国大会へ出場することが出来ました。生徒のこのような活躍と同窓生の皆様の実績のおかげで、九年連続就職内定率100%を達成しています。これからも同窓生の皆様の期待に応えられるよう、良き伝統をさらに拡大できるように努力していきたいと思っております。機会があれば、ご来校頂き後輩の激励や、本校に対するご意見ご要望等をいただければありがたいと思っております。今後とも、本校に対するご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

# くろがね祭

十一月十二日、十三日とくろがね祭が行われました。

十二日には仮装行列、十三日には一般公開が行われ大勢の方々が見学に来ていただきました。



## 同窓会展示室

同窓会コーナーを実習棟に設けて、アルバムや会報・校歌CD・名簿などの資料を展示した。多くの卒業生が懐かしい写真などを手にし、思い出話しに花が咲き盛況のうちに終わることができました。

また、今回は本校二回生であり絵画界の一線で活躍しておられる渡辺純一氏の協力で絵画展も同室で開催した。中には一〇〇号という大きな風景画も展示されました。



母校  
だより

平成18～22年度 年間資格・検定試験取得数

検 定 試 験					
資格名	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
実用英語検定	準2級	1	2		1
	3級	20	36	37	13
リスニング英語検定	1級		1	2	2
	2級		12	3	15
	3級		7	12	26
計算技術検定	2級		1	1	
	3級	180	168	179	184
漢字能力検定	2級	2	6	1	1
	準2級	22	24	19	16
	3級	67	83	80	87
	4級	23	26	14	20
情報技術検定	2級	2			15
	3級	143	138	136	114
実用数学検定	準2級	1		3	3
	3級	6	3	21	
計算技能検定	2級			1	
	準2級	4	2	4	2
	3級	4		9	
数理技能検定	3級			3	
	2級				1
パソコン利用検定	2級			4	7
	3級				7
基礎製図検定		54	55	67	54
機械製図検定		7	27	37	22
測量技術検定	1級	25	46	4	—
	2級	66	37	29	28
レタリング検定	2級		1		
	3級	31	19	19	20
グラフィックデザイン検定	2級	9	3		
	3級	37	31	28	22
カラーコーディネータ	3級		6	2	1

国 家 資 格					
資格名	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
ガス溶接技能講習	57	67	136		
ボイラー-技工士講習	75	146	75	76	76
2級ボイラー-技工士	12	22	5	11	
電気主任技術者	第3種		1		
	第1種	20	17	15	15
電気工事士	第2種	44	18	31	17
	乙1類	13	2	14	7
危険物取扱者	乙2類	9	2	3	6
	乙3類	8	3	3	1
	乙4類	39	14	40	16
	乙5類	2	5	1	4
	乙6類	10	4	7	4
	測量士補			1	
土木施工技術者		1		1	2
車両系建設機械運転技能者	小型車両	24	42	15	35
	フォークリフト	42	51	88	120
	高所作業	16	16	9	11
	締固用機械		40	9	24
工事担任者	玉かけ				24
	DD1種	2	5	5	3
	DD2種				4
技能士	DD3種	21	19	16	24
	3級			1	1
基本情報技術者		1			

平成22年度 各種大会参加記録

◆**野球部**  
 ○第62回春季東北地区高等学校野球福島県大会 県大会出場  
 ○第92回全国高等学校野球選手権福島大会 2回戦敗退  
 ◆**バスケットボール部**  
 ◆**卓球部**  
 ○福島県高校体育大会  
 男子ダブルス 高野翔太・藤野孝夫組 出場  
 男子シングルス 中鉢大貴・藤野孝夫 出場  
 ○全日本卓球選手権大会  
 男子シングルス 菅野寛成 出場  
 ○福島県高等学校新人戦体育大会  
 男子ダブルス 菅野寛成・中鉢大貴組 出場  
 男子シングルス 中鉢大貴 出場  
 ◆**サッカー部**  
 ○第99回高校サッカー選手権福島県大会  
 1回戦 二本松工 3-0 白河実  
 2回戦 二本松工 4-1 白河旭  
 3回戦 二本松工 1-1 PK 2-0 福島  
 4回戦 二本松工 0-5 郡山  
 ◆**陸上競技部**  
 ○福島県高校体育大会 出場者  
 800m 藤沢 友  
 円盤投 石川伸剛  
 やり投 赤岡翔太  
 1年 4×100mリレー  
 ○福島県総合体育大会 出場者  
 800m 藤沢 友  
 4×100mリレー  
 4×400mリレー  
 砲丸投 赤岡翔太・石川伸剛  
 やり投 赤岡翔太  
 少年男子A 円盤投げ 石川伸剛・押山 瑠  
 ○福島県高校新人体育大会 出場者  
 走高跳 後藤優哉  
 円盤投 押山 瑠  
 やり投 熊田海成  
 ◆**山岳部**  
 ○福島県高等学校体育大会 登山大会 参加  
 ◆**柔道部**  
 ○福島県高等学校体育大会  
 男子団体戦 出場  
 個人戦 出場者  
 男子60kg級 狩野章太  
 男子73kg級 安齋 悟  
 男子73kg級 阿部亮太  
 男子73kg級 清水大輔  
 男子90kg級 鈴木 渉  
 男子100kg級 渡邊康一  
 男子100kg級超級 丹野雄太

女子63kg級 安齋しおり  
 ○福島県総合体育大会  
 男子先鋒戦 渡邊翔太  
 男子次鋒戦 狩野章太  
 男子次鋒戦 阿部亮太  
 男子次鋒戦 安齋 悟  
 男子中堅戦 石川大剛  
 男子副将戦 渡邊康一  
 女子中堅戦 安齋しおり  
 ○福島県高等学校新人大会  
 男子団体戦 出場  
 個人戦 出場者  
 男子60kg級 渡邊翔太  
 男子66kg級 飯部将也  
 男子73kg級 清水大輔  
 男子100kg級 渡邊康一  
 男子100kg超級 丹野雄太  
 女子57kg級 第3位 安齋しおり  
 ○福島県選手権大会  
 男子団体戦 出場  
 女子個人戦 女子57kg級 安齋しおり  
 ◆**柔道部**  
 ◆**弓道部**  
 ○福島県春季弓道大会  
 男子団体戦 第3位  
 男子個人 齋藤駿甫 第2位  
 ○福島県高等学校体育大会  
 男子団体戦 第3位  
 ○福島県総合体育大会  
 男子個人出場者 齋藤修平・齋藤駿甫・藤原一輝  
 ○福島県高等学校新人大会  
 男子個人出場者 阿部大介  
 ◆**バドミントン部**  
 ○福島県高等学校体育大会 出場者  
 男子団体 第3位  
 男子ダブルス 武藤孝幸・今井良平 ベスト8  
 菅野洗平・五十嵐孝二  
 武藤秋紀・菅野寛太  
 野村俊輔・小泉 崇  
 石井脩斗・江川 篤  
 男子シングルス 武藤孝幸・五十嵐孝二・菅野洗平  
 ○福島県総合体育大会 出場者  
 男子ダブルス 武藤孝幸・今井良平 ベスト8  
 菅野洗平・五十嵐孝二  
 武藤秋紀・菅野寛太  
 野村俊輔・小泉 崇  
 武藤孝幸・今井良平・五十嵐孝二  
 菅野洗平・石井脩斗・小泉 崇  
 高野美紀 梅原藍里  
 女子ダブルス

女子シングルス 高野美紀  
 ○福島県高等学校新人大会  
 男子団体 出場  
 男子ダブルス 今井良平・菅野寛太 ベスト8  
 男子シングルス 柚木 翔  
 女子団体 出場  
 女子ダブルス 高野美紀・梅原藍里  
 女子シングルス 高野美紀  
 ◆**カヌー部**  
 ○第13回東北高等学校カヌー選手権大会  
 500m K-1 齋藤拓歩 4位  
 K-2 齋藤拓歩・齋藤智也 3位  
 ○第37回東北総合体育大会カヌー選手権大会  
 500m K-2 齋藤拓歩・齋藤智也 2位  
 C-2 齋藤 晃・武田慶紀 3位  
 WK-2 渋谷朱里 3位  
 ○全国高等学校総合体育大会・第26回全国高等学校カヌー選手権大会  
 500m K-2 齋藤拓歩・齋藤智也 4位  
 ○文部科学大臣杯日本カヌー選手権大会  
 500m K-4 齋藤拓歩・齋藤智也 2位  
 ○東北高等学校新人カヌー選手権大会  
 500m K-1 大槻一樹 6位  
 C-1 齋藤 晃 8位  
 C-2 齋藤 晃・武田慶紀 6位  
 ◆**ソフトテニス部**  
 ○福島県高等学校体育大会  
 男子団体戦 出場  
 男子個人戦 出場 高野真幸・山下和希  
 羽田明敏・梅原光記  
 ○福島県総合体育大会  
 男子個人戦 出場 黒澤嘉紀・安喰 湧  
 大内 将・梅原光記  
 羽田明敏・山下和希  
 ○福島県高等学校新人体育大会  
 男子団体戦 出場  
 男子個人戦 出場 黒澤嘉紀・梅原光記  
 大内 将・菅野和貴  
 遠藤悠太・安喰 湧  
 ◆**バレーボール部**  
 ○福島県高等学校体育大会 出場  
 ◆**美術部**  
 ○福島県高等学校美術展出品  
 ◆**科学部**  
 ○福島県高等学校ロボット競技大会 参加  
 ◆**情報システム科 課題研究**  
 ○ジャパン マイコンカーラリー 2011全国大会出場  
 アドバンス部門 菊地樹樹・高橋 務  
 ベーシック部門 高橋 優

## 進路実現に向けて

進路指導主事 松本裕志

昨年度以来の雇用情勢の悪化から、本年度は昨年度よりは…という思いでスタートした平成二十二年度でありましたが、実際は昨年度より求人数・求人数ともに激減した一年となりました。

福島県全体でも全国平均を大きく下回り、さらに福島県内にある十二のハローワークの中で最も求人数が少ないのが二本松管内なのです。そんな中、十二月末日現在で本校の三年生は百二十名を超える就職希望者のうち百七名が内定を頂きました。

二本松・安達管内には本校卒業生が活躍をされている企業が多数あり、OB・OGの方々の後輩のために、という配慮から採用に際しご尽力を頂いたこともありました。

この場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございます。今後ともよろしくお願いたします。

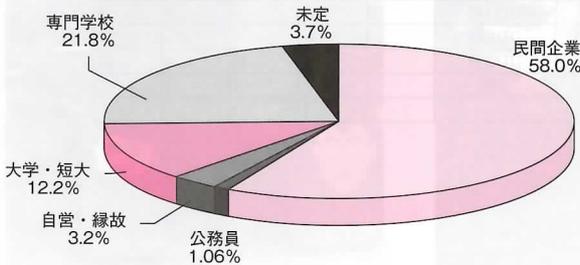
さて、このような雇用情勢は来年度以降急速に改善されると思えません。

進路決定を実現するために、何より平日頃の学校生活での自己研鑽が必要であると思っております。毎日の学習だ

平成22年度 進路決定状況 (平成22年2月15日現在)

学科名	民間企業	公務員	自営・縁故	大学・短大	専門学校	未定	卒業予定者
機械システム科1組	20	1		6	10	1	38
機械システム科2組	22			6	6	3	37
情報システム科3組	21			7	9	0	37
情報システム科4組	23		6	3	6	2	40
都市システム科5組	23	1		1	10	1	36
合計	109	2	6	23	41	7	188

平成22年度 進路決定状況 (平成23年2月15日現在)



けでなく、先ずは三年間皆勤であることです。その上で学習や資格取得、部活動に結果を恐れずに取り組んで欲しいと思います。

また、挨拶や自主性の確立、責任感やコミュニケーション能力の向上などが重要になってきます。高校生活三年間でこれらの事柄を身につけて欲しい、と強く希望します。

進路実現は、進路決定とは違います。企業に就職して経済的な基盤を確立し社会人として自立することが進路実現です。進学予定者も二年後または四年後に進路決定をして進路実現を目指さなくてはなりません。十年後、二十年後に産業界を担っていくことができる人材になることを目指しながら、今後の人生を歩んでいくことができて欲しいと思っています。

## 進路内定状況

就職	内定	企業名	職種	人数
就職	県内(7社)6人	株式会社カキセイコー東北工場	生産オペレーター(一般職)	1
		株式会社飯田製作所福島工場	技術職	1
		株式会社クラフト	技術職	1
		福島製鋼株式会社本社・喜望工場	技術職	1
		株式会社日ビス福島製造所	技術職	1
		協三工業株式会社	技術職	1
		東陽工業株式会社	金型製造製造職	1
		大井電設工業株式会社	外機工事係	1
		任程エンジニアリング株式会社	技術職	1
		福島アドオニクス株式会社	製造部員	1
		株式会社若製作所	旋盤工	1
		ニチラク機械株式会社	製造	1
		パーフェクトン株式会社	製造技術職	1
		有限会社晋豪プレス工業	プレス工	1
		高橋電機株式会社	技術職	1
		パナソニック電気株式会社郡山事業所	技術職	1
		三栄化成株式会社	製造管理・検査・製造・製造・成形	3
		株式会社郡山青木	製造・販売	1
		川原機械株式会社	回転機等の販売・品質保証	2
		株式会社大川電機製作所	NCオペレーター	1
		福島キヤノン株式会社	技術・技術・情報	9
		株式会社ニチイ館	介護職員	1
		東陽工業株式会社	製造工	1
		東日本電気エンジニアリング株式会社	技術職	1
		株式会社田嶋システム産業機械事業部	技術職(設計・製作・検査・事務)	1
		株式会社田嶋システム産業機械事業部	型製作検査	1
		株式会社タツミ電工	配電工事	1
		ソニーエナジー・デバイス株式会社	製造職	1
		パナソニックエレクトロニクスデバイスジャパン株式会社	製造	1
		三春工業株式会社	技術職	1
		福島グラフィック株式会社	技術職	1
		株式会社入野製作所	特殊技術職(ウォータージェット加工)	1
		株式会社福島芝罘電子	製造	1
		ライオン菓子株式会社二本松工場	製造	2
		福島レボコ株式会社	製造職	2
		東北江南株式会社	製造	2
		日の丸システム株式会社	飲食物販売員	1
		船洋硝子株式会社二本松工場	機械オペレーター、検査(交付)	3
		株式会社ヤマト本社福島工場	製造職	1
		株式会社江津堂印刷所	印刷作業員	1
宮本技研工業株式会社	技術職	2		

就職	内定	企業名	職種	人数
就職	県外(7社)8人	株式会社アプレック二本松工場	技術職	1
		株式会社中山水力	製造	3
		株式会社協栄製作所	検査	1
		新鋼製工業株式会社若代工場	組入用集積、技術職	1
		株式会社大産業	製造(機械オペレーター/組立/梱包)	1
		株式会社二級塗装	営業及び現場監督	1
		新田建設工業株式会社	土木工事技術者、建築工事技術者	2
		ケーヨーモダンシステム株式会社	金型部品加工	2
		株式会社アールビッド	施工スタッフ	3
		有限会社日下部電工	電気工事	1
		株式会社日東福島工場	製菓職	1
		ナンシン精工株式会社	成形技術、金型検定	1
		株式会社東洋電気工業	電気工事	1
		株式会社ワルツ物産	フォークリフト作業員	3
		株式会社地盤	土木技術師	1
		有限会社山田土木	土木作業員	1
		株式会社クラウ工業	土木作業員	1
		菅野建設工業株式会社	建設機械オペレーター	2
		株式会社日通	一般事務	1
		安達人良オフィス株式会社	技術職(機械)	1
		有限会社さくら屋	鉄骨加工及び塗装工	1
		株式会社イシタ	鉱石加工員	1
		富士通アソシエーツ株式会社	製造オペレーション職	1
		川名建設工業株式会社	現場技術者	1
		有限会社泉屋	サービス業	1
		有限会社D&N	デジタル家電製品の製造全般	4
		株式会社古田製菓	地盤改良オペレーター、配管工	2
		株式会社東陽	製造	1
		株式会社東陽	フロントサービス	1
		プリズン・生産財タイムソリューション東北株式会社/ソング・リフレッド福島フレクト	製造	1
		株式会社アイファサービス(継続扱い)	光ファイバー配線作業	2
		新ふくしま農業協同組合(継続扱い)	営業及び事務並びに営農職	1
		南電設株式会社(継続扱い)	電気通信工事	2
		有限会社BSW(継続扱い)	機付塗装、自動車修繕	1
		キヤノン電子株式会社	製造組立	2
		遼川化学工業株式会社	製造職	1
		北東北電力株式会社	電気	1
		東セロ株式会社	フィルム製造業務	1
		パナソニックテクニカルサービス株式会社	修理業務及び工事設置・メンテナンス業務	1
		株式会社本田技術研究所R&Dセンター	四輪車の研究開発に伴う各職	1

進学	内定	進学先	学科・科	人数		
進学	県内(2校)13人	いわき明眼大学	人文学部	1		
		日本大学	工学部	12		
		日本工業大学	工学部	4		
		足利工業大学	工学部	1		
		専門学校	県内(5校)28人	会津大学短期大学部	産業情報学科	1
				福島学院大学短期大学部	保育科第一	4
				福島県立テクノアカデミー洋職業能力開発校	情報システム科	2
				福島県立テクノアカデミー洋職業能力開発校	自動車整備科	1
				福島県立テクノアカデミー洋職業能力開発校	機械技術科	1
				福島県立テクノアカデミー郡山職業能力開発校	情報システム工学科	1
				福島県立総合衛生学院	歯科衛生学科	1
				W1z国際情報工科大学	情報システム工学科	2
"	電気電子工学科			1		
"	自動車工学科			3		
"	建築CAD設計科			2		
"	グラフィックデザイン科			2		
進学	県外(8校)9人	山形県立ビジネス専門学校	プログラマー/デザイナー科	1		
		"	スポーツビジネス科	1		
		"	医療秘書科	1		
		"	経営流通ビジネス科	1		
		国際ビューティー・ファッション専門学校	美容学科	1		
		福島県高等専修学校	美容科	1		
		国際アート&デザイン専門学校	グラフィックデザイン科	1		
		"	ミュージック・音響科	1		
		日本調理技術専門学校	調理師科2年制	1		
		郡山健康科学専門学校	看護学科	1		
		福島医療専門学校	柔整科	1		
		東北医療福祉専門学校	医療事務科	1		
福島介護福祉専門学校	介護福祉学科	1				
クイセンビジネス公務員カレッジ	行政事務科	4				
日本工科大学専門学校	ミュージックアーティスト科	1				
仙台コミュニケーション専門学校	音楽コミュニケーション科	1				
"	カフェ・パティシエ科	1				
日産栃木自動車学校	自動車整備科	1				
学校法人国際総合学園JAPANサッカークレッジ	サッカー専攻	1				
大工育成塾	大工	1				
専門学校デジタルアーツフロンティア	フィギュア造形科	1				
専門学校日本スクールオブビジネス21	ホテル・トラベルビジネス学科/観光・交通ビジネスコース	1				
東京自動車大学	自動車整備科/一般自動車整備コース	1				



# 同窓会 だより 総会報告

平成二十二年総会は湯田校長のご臨席を賜り七月三十一日(土)「二本松御苑」にて行われました。二十一年度収支決算書・二十二年

度予算書は下記の通りです。

校長先生の話題は校外での部活、資格、課題研究など生徒の活躍報告でした。

同窓会長は来たるくろがね祭への期待と教育費についての話でした。総会の中で、東京支部活動についての話なども出ました。

総会後も五十周年記念事業内容などの貴重な意見も受け賜り、いろんな話がたくさん出て盛り上がり親睦を深めることができました。

## ■ 平成22・23年度役員 ■

役職	氏名	卒年度	科
会長	藤山 孝雄	40	機械
副会長	丹波 保夫	39	土木
顧問	渡邊 清吉	41	電気
顧問	大野 清吉	44	電気
顧問	小形 実元	44	電気
顧問	小形 義勝	48	電気
顧問	小形 則徳	46	電気
顧問	小形 博徳	48	電気
顧問	小形 美子	49	電気
顧問	小形 久美子	55	電気
顧問	小形 市郎	57	電気
顧問	大内 庄五郎	41	電気
顧問	大内 光一	42	電気
顧問	阿部 昭一	42	電気
顧問	安野 喜一	42	電気
顧問	安野 八司	44	電気
顧問	尾形 巳一	47	電気
顧問	尾形 正一	47	電気
顧問	高橋 薫	49	電気
顧問	高橋 彰一	49	電気
顧問	高橋 正一	51	電気
顧問	高橋 栄一	54	電気
顧問	高橋 新栄	57	電気
顧問	高橋 水一	57	電気
顧問	高橋 浩美	58	電気
顧問	高橋 源太郎	60	電気
顧問	高橋 智宏	60	電気
顧問	高橋 周平	H5	電気

## ■ 平成21年度同窓会決算書 ■

収入の部		合計 1,707,855 円			
科目	21年度予算額	21年度決算額	増減	備考	
会費	950,000	955,000	5,000	191人×5,000円	
入金	400,000	400,000	0	200人×2,000円	
雑収入	334	189	△145	預金利息等	
繰越金	352,666	352,666	0		
計	1,703,000	1,707,855	4,855		

支出の部		合計 1,641,000 円			
科目	21年度予算額	21年度決算額	増減	備考	
会議費	210,000	165,770	44,230	役員会、総会	
行事費	30,000	18,460	11,540	入会式	
通信費	50,000	35,000	15,000	ハガキ、切手	
会報費	180,000	184,800	△4,800	会報発行	
慶弔費	30,000	10,000	20,000	香典、その他	
記念品費	190,000	168,462	21,538	卒業記念品(証書バインダー)	
後援費	180,000	105,730	74,270	激励金、広告	
事業費	300,000	254,612	45,388	会報発送作業費	
事業積立費	300,000	300,000	0		
事務費	190,000	153,300	36,700	データ有償管理費、事務用品等	
予備費	43,000	21,000	22,000	退会金 16,000円(8人)終身会費 5,000円を支出	
計	1,703,000	1,417,134	285,866		
		残高	290,721		

## ■ 平成21年度同窓会収支予算書 ■

収入の部		合計 1,641,000 円			
科目	22年度予算額	21年度予算額	比較増減	備考	
会費	950,000	950,000	0	190人×5,000円	
入金	400,000	400,000	0	200人×2,000円	
雑収入	279	334	△55	預金利息等	
繰越金	290,721	352,666	△61,945		
計	1,641,000	1,703,000	△62,000		

支出の部		合計 1,641,000 円			
科目	22年度予算額	21年度予算額	比較増減	備考	
会議費	200,000	210,000	△10,000	役員会、同窓会総会	
行事費	30,000	30,000	0	入会式	
通信費	50,000	50,000	0	ハガキ、切手	
会報費	195,000	180,000	15,000	会報発行	
慶弔費	30,000	30,000	0	香典、その他	
記念品費	190,000	190,000	0	卒業記念品	
後援費	350,000	180,000	170,000	くろがね祭後援会、激励金、広告	
事業費	300,000	300,000	0	会報発送費	
事業積立費	130,000	300,000	△170,000		
事務費	120,000	190,000	△70,000	データ有償管理費、事務用品等	
予備費	46,000	43,000	3,000	退会金等を含む	
計	1,641,000	1,703,000	△62,000		

歳出予算科目に過不足が生じたときには、会長に諮(はか)り各科目間において流用することができる。

顧問	氏名	備考
初代会長	鈴木 清和	
二代目会長	阿部 昭吉	
三代目会長	佐藤 昭吉	
前代会長	菅野 恒	

選考委員会	氏名	卒年度	科	備考
委員長	秋山 孝雄	39	機械	副会長
委員長	渡邊 保夫	41	土木	副会長
委員長	高橋 薫	49	機械	事務局次長
委員長	安野 邦衛	54	機械	理事
委員長	小沢 源太郎	60	土木	理事
委員長	小形 義元	48	土木	事務局

広報委員会	氏名	卒年度	科	備考
委員長	丹治 茂雄	40	機械	副会長
委員長	丹治 正一	47	土木	理事
委員長	高橋 正一	51	土木	理事
委員長	高橋 栄一	57	機械	理事
委員長	高橋 周平	H5	電子	理事
委員長	高橋 今喜	H15	機械	事務局

事務局	氏名	卒年度	科	備考
局長	甲賀 豊三	47	土木	都市システム科職員
次長	高橋 正一	49	機械	理事
次長	高橋 義和	48	土木	理事
次長	高橋 今喜	H15	機械	会報委員、都市システム科職員



カヌー部  
平成22年度全国高等学校総合体育大会  
3年1組 高藤 拓歩、3年2組 高藤 智也、2年1組 菅野 達也  
1年2組 大槻 一樹、1年1組 武田 慶紀、1年2組 高藤 晃



ロボット相撲  
第22回全日本ロボット相撲東北大会  
3年1組 川越 智人、高藤 佑樹、高藤 慶次、佐藤 孝太  
佐藤 僚行、高橋 愛里、森 里美



マイコンカーラー  
ジャパンマイコンカーラー 2011 全国大会  
3年3組 高橋 優、3年4組 菊地 瑞樹、高橋 務

## 個人情報保護法について

さて、皆様もご承知のとおり、『個人情報保護法』が施行されました。

私ども同窓会においても会員の皆様の個人情報について、管理の徹底・安全対策を十分に図って参ります。

なお、住所変更や個人情報についてのお問い合わせは、本会事務局にご連絡お願い申し上げます。

福島県立二本松工業高等学校 同窓会事務局  
tel 0243-23-0960



創立 20 周年記念碑



創立 40 周年記念碑



創立 30 周年記念  
銅板による校章と学校名

事務局  
今村 和喜  
高橋 周平  
鈴木 新栄  
橋本 正一  
本田 正  
丹治 茂雄

会報委員長  
委員  
この時期に、同窓会活動や会報に対し、多くの同窓生の皆さんのご意見等をいただければ、有難く存じます。  
なお今回の会報は、昭和四十四年度卒〜五十三年度卒の同窓生に、お送りいたします。会報の必要な方は、事務局までご連絡ください。

松工も、まもなく五十周年を迎え、二〇一三年には五十周年記念式典を開催する予定になっております。  
今年も地元の新聞では、在校生や先生方が、資格取得や課題研究発表会等で大きな力を発揮し、活躍されているのが報道されております。

二本松工業高等学校の同窓会会報も、平成十三年に第一号を発行して以来、今号で第十号を発行する事が出来ました。これひとえに皆様方のご協力のおかげと、心より感謝申し上げます。